

マイナンバーあるある

マイナンバーが  
12ケタの番号というのは  
わかったけど…  
でも、どうしてできたんだろう…



たしかに、  
どうしてひとりひとりに  
番号が必要なんだろう？



マイナちゃん、  
もう少し、  
詳しく説明してくれる？



簡単にいうと、役所などで「本人  
かどうか、個人を特定しやすくす  
る。」ということです。



個人を特定しやすくなることに  
よって、役所などは困っている人  
を見つけやすくなります。世の中

A

マイナンバーが導入される前は、それぞれ  
の行政機関が、それぞれの番号で個人の情報を  
管理していたので、「その人が本当にどれ  
だけお金をもらっているのか」「どんな行政  
サービスを受けているのか」など、把握する  
のに多くの時間と労力を費やしていました。  
今後はマイナンバーによって、情報の確認が  
しやすくなるので、社会保障の給付を適正に  
行うことができるようになります。また、税や社会保障の  
負担を不当に免れることや、不正受給などがなくなり、公  
正・公平な負担と給付が受けられるようになります。

B

には、必要な支援を受けられるのに受けてい  
なくて困っている人もいます。マイナンバー  
があれば、そのような人に必要な支援や給付  
を行うことができるようになります。

それに、これからの日本はお年寄りが増え  
て、若者が減るといわれています。助けが必要  
な人が増えて、支援に必要なお金(税)を納  
めてくれる人が減ってきているともいえま  
す。限られたお金を本



当に必要としている  
人への支援に使うた  
めに、このマイナン  
バー制度がつくられ  
たといえます。

C

指導の  
ポイント

以下の点を中心にご説明ください。

A B C 制度導入の背景を考えさせる

D 日本が抱える課題のために新しい仕組みが必要で

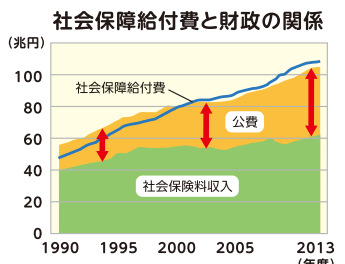
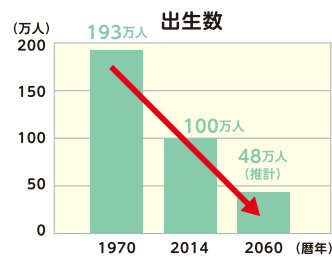
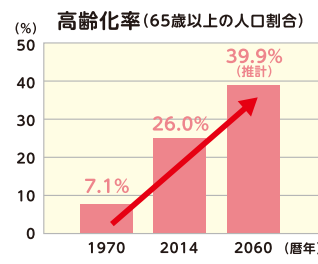
あったということ

E 制度導入の「3つの目的」を理解させる

少子高齢社会が抱える課題について

現在の日本はお年寄りが増え、子供の数が減る「少子高齢化」が進んでいます。高齢化によって増える社会保障の費用を、若者が支えるにも限界があるので、新しい仕組みが必要です。「マイナンバー制度」はこうした社会の変化に対応するために導入されました。

D



2060年には10人に  
4人が高齢者に!

さらに、生まれる  
赤ちゃんの数は  
今の半分に!

社会保障給付費は、社会  
保険料だけではまかなえず  
公費の負担が増えている



覚えて  
おいてね~!

マイナンバー制度の導入で目指す社会

マイナンバー制度の導入によって、所得の状況や社会保障の受給状況を正しく把握できると、税や社会保障の負担を不当に免れることや不正受給の防止、そして本当に困っている人に必要な支援ができるようになります(公平・公正な社会の実現)。また、行政手続のときに、必要な書類が減るなど国民の負担も減りますし(国民の利便性の向上)、業務のムダを減らすことにもつながります(行政の効率化)。



マイナンバー制度の3つの目的

公平・公正な  
社会の実現

国民の利便性の  
向上

行政の効率化

E